健康投資

- 体力・筋力測定会
- OG健康体操
- ウォーキングイベント（歩活）
- アルコール保健指導
- 禁煙キャンペーン
- アクティブレスト（積極的休養）イベント
- 健康情報の発信・アンケート
- 若年社員への生活習慣改善支援
- 胃がん・乳がん・子宮頸がん検診受診勧奨施策
- リワークプログラムの推奨
- 集団分析結果を活用した職場環境改善

健康投資の効果（KPI）

健康投資施策の取組み状況に関する指標

- 参加率
- 参加率
- 参加率
- 保健指導実施率
- 参加率
- 実施率、参加率
- 閲読率・アンケート回答率
- 実施率
- がん検診受診率
- 満足度
- ストレスチェック受検率

従業員等の意識変容・行動変容に関する指標

ヘルシー7

- 運動週2回以上実施率
- 飲酒2合以上の比率
- 喫煙者率
- 睡眠で休養が取れている率
- 朝食欠食率

- ヘルスリテラシー（アプリ登録率）
- メンタルタフネス度スコア

健康関連の最終的な目標指標

- 適正体重維持者率
- ストレス反応スコア
- 医療が必要な人の割合を▲1%減らす

※赤矢印はヘルシー7全体に効果をもたらす

従業員の健康課題

- 「ヘルシー7生活習慣モニター指標」では、前年比で飲酒や朝食習慣が改善した一方、適正体重維持者率は悪化傾向にある。
- 当社データでは入社10年目を境に、循環器疾患リスクとなる「肥満」が増加する傾向。将来の重篤化を防ぐため、肥満定着前の若手層への早期アプローチに注力する必要がある。
- 具体策として、若年期からの「運動・食事・飲酒」に関する予防的ヘルスリテラシー教育を実施。「ヘルシー7」行動指針の実践・習慣化を促す施策を展開する。

健康風土の醸成

- 健康経営の浸透状況
- 方針実現のための体制・環境
- 企業の健康風土の醸成状況
- 推進方針への理解度
- 従業員等1人あたりの産業医、保健師等、専門職の人数
- 上司/同僚からのサポート

目標年：2030年

KGI

- ワークエンゲージメントスコア50(業種平均)以上の維持
- プレゼンティーイズム85%※
- アブセンティーイズム1.5%

健康経営の目標

- 健康診断総合判定で医療が必要な人の割合を低減し、いきいきと活力のある職場を作ります。
- 右記の活動を通じて、従業員の健康オーナーシップを確立し、従業員のエンゲージメント向上に健康面から貢献します。

健康経営の推進方針

健康経営により行動指針"ヘルシー7"の各指標（体重・食事・運動・飲酒・禁煙・睡眠・ストレス）を改善することで、従業員の心身の不調を予防して医療が必要な人を低減させ、いきいきと活力のある職場をつくることを目指します。それにより、従業員の健康オーナーシップを確立し、従業員エンゲージメントの向上に健康面から貢献していきます。

経営方針

従業員の様々な個性を尊重し、やりがいを持って仕事に取り組み成長するためのサポートを行います。

※数値はパフォーマンス発揮度（100%ープレゼンティーイズム）